

令和3年度版
尾鷲市まち・ひと・しごと創生総合戦略
検証シート

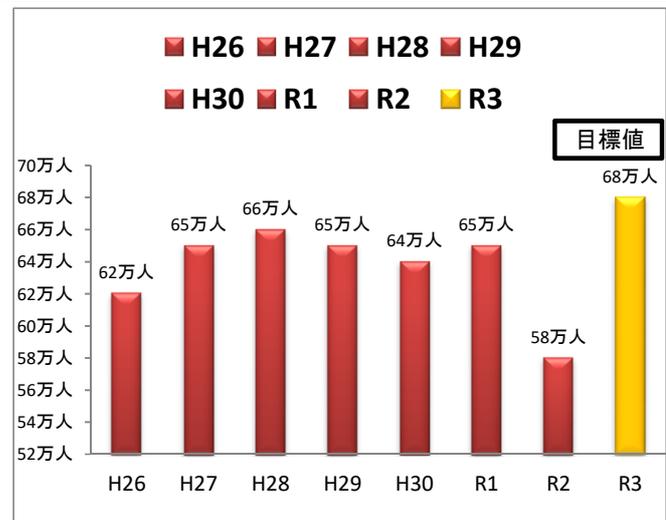
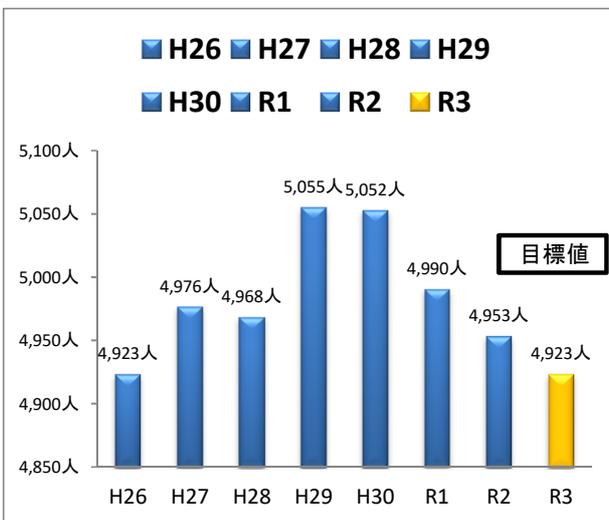
令和3年11月
尾鷲市

基本目標 1 安定した雇用を創出する

施策概要・目的

本市における安定した雇用を創出するためには、地域産業において後継者育成やブランド化に取り組むなど、農林水産物を安定供給できる体制を構築する必要があります。また、尾鷲の魅力である「食」「特産品」「熊野古道」など、地域の魅力を市内外に情報発信するとともに、地域の特性を生かした事業・企業誘致や起業支援を行い、新たな経済活動を通じて、雇用の創出を目指します。

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
市内事業所への就業者数	4,923人	4,976人	4,968人	5,055人	5,052人	4,990人	4,953人	4,923人
観光入込客数 (過去3ヶ年平均値)	62万人	65万人	66万人	65万人	64万人	65万人	58万人	68万人



KPIの達成状況 R2実績値／R3目標値			取組項目(小)の今後の方針について	
①100%	10	38%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	0
②100%未満 75%以上	6	23%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	7
③75%未満 50%以上	3	12%	③特に見直しをせず事業を継続する	3
④50%未満	7	27%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	26	100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

地方創生会議からの意見等

後継者対策について、少しずつではあるが成果が表れており、企業版ふるさと納税に関しては、最初の1件が出たという事が大きい。
 また、マハタについては、市民の口コミ等による発信力が大きな力となるが、食経験のない市民も多いことから、市内向けに流通できるような工夫を検討してもらいたい。
 ヒロメの養殖については目標値が高すぎたように思われる。また、大曾根浦については高水温下でも生産が残ったという事から、実態を検証し引き続き頑張ってほしい。
 国産木材の需要が大きくなっているなかで、「尾鷲産材を使用した住宅建設件数」が振るわなかったのは残念であるが、市の補助制度の条件を拡充することも検討しているという事であり、制度の対象で無い住宅建設については尾鷲産材が使われているケースも多いとの報告もあるので、今後期待したい。

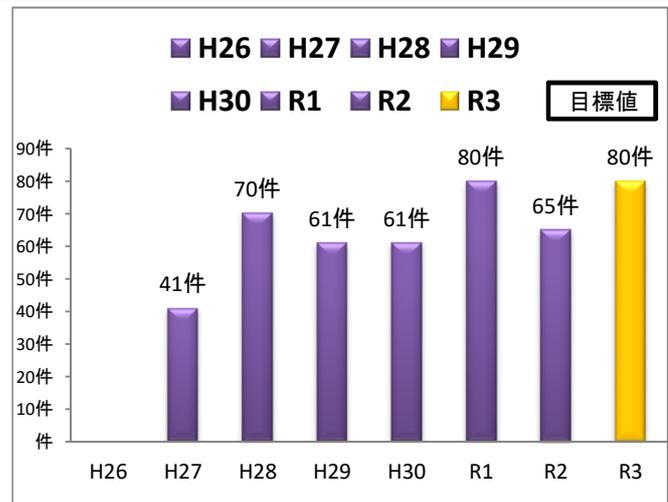
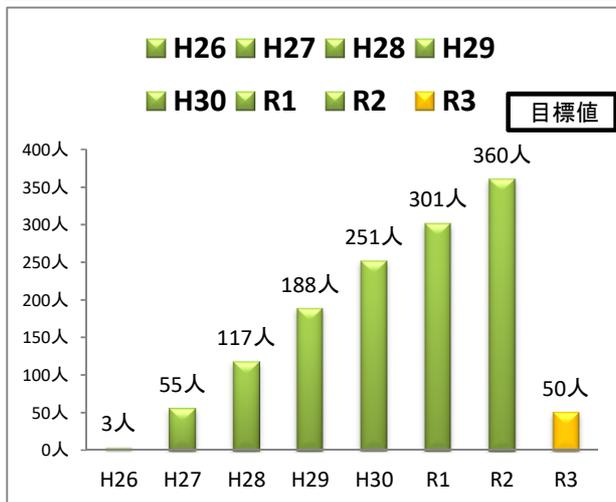
基本目標 2 新しいひとの流れをつくる

施策概要・目的

豊かな自然、歴史ある文化、温かい人情。そんな暮らしを求めて地域への定住移住を目指す人の流れを本市に作り出すために、各地域に存在する空き家を活用した、多彩な施策を講じていくとともに、地域団体はもとより関係企業などとも連携してスムーズな受け入れが可能となる仕組みづくりを行います。

また、先進事例を調査研究し本市独自の定住移住施策を作り込むとともに、おわせ暮らしを地域情報として発信し、定住移住につなげるとともに、他地域から本市を応援してくれる、ファンづくりを推進していきます。

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
定住移住に係る行政窓口を活用した定住移住者数(累計)	3人	55人 (単年52人)	117人 (単年62人)	188人 (単年71人)	251人 (単年63人)	301人 (単年50人)	360人 (単年59人)	50人 (5ヶ年累計)
定住移住相談の実施件数	-	39件	41件	70件	61件	80件	65件	80件



KPIの達成状況 R2実績値/R3目標値		取組項目(小)の今後の方針について		
①100%	5	63%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	4
②100%未満 75%以上	0	0%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	0
③75%未満 50%以上	1	13%	③特に見直しをせず事業を継続する	0
④50%未満	2	25%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	8	100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

地方創生会議からの意見等

定住移住については大きな成果が出ており、移住者数やコミュニティビジネスの事業化数など目を見張るものがある。特にふるさと納税の件数の伸びは、近年でも稀に見るほどの大きな成果と言え、平成30年からの地道な取り組みが実を結んだといえ、是非継続していただきたい。

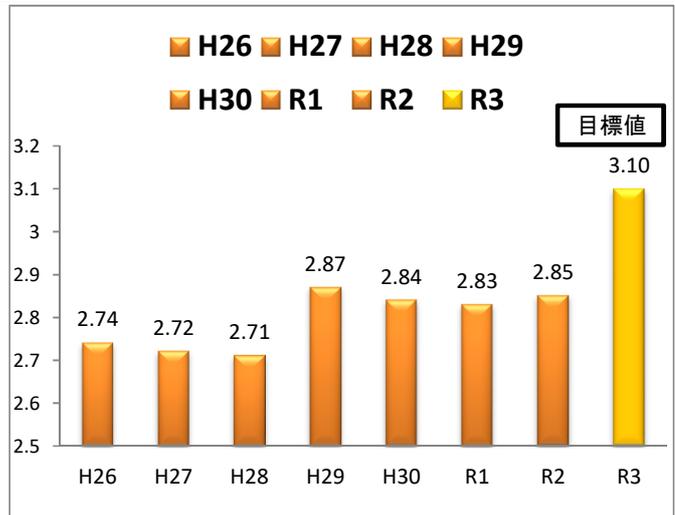
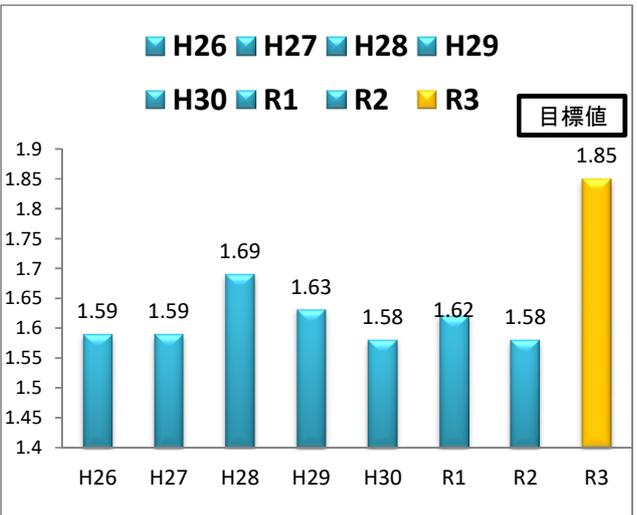
また、全国的に認知されてきている「空き家バンクの活用」についても、県下トップの利用という事であるが、移住するだけでなく、長く住んでいただくために必要な手立ても引き続き取り組んで欲しい。

移住者に対しては、近所の環境だけではなく、制度設計を工夫をしながら、地域コミュニティに馴染んでもらえるよう取り組んでもらいたい。

基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

<p>施策概要・目的</p>	<p>結婚、妊娠、出産、その後の子育て支援や教育に至るまで、きめ細かな支援体制を関係機関と連携しながら整備し、女性に選ばれる地域づくりや環境整備に努めます。さらに、自然のなかでの子育てや、地域の見守り、地域コミュニティでの子育てなど、都会にはない尾鷲の子育ての魅力があることから、本市の魅力を生かし、子育てしたい、子育てしやすいまちづくりを推進します。</p>
----------------	--

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
合計特殊出生率 (過去5ヶ年平均値)	1.59 (H20~24年)	1.59 (H21~25年)	1.69 (H22~26年)	1.63 (H23~27年)	1.58 (H24~28年)	1.62 (H25~29年)	1.58 (H26~30年)	1.85
子どもや子育て支援への満足度	2.74	2.72	2.71	2.87	2.84	2.83	2.85	3.10



KPIの達成状況 R2実績値／R3目標値		取組項目(小)の今後の方針について		
①100%	11	79%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	0
②100%未満 75%以上	1	7%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	0
③75%未満 50%以上	1	7%	③特に見直しをせず事業を継続する	7
④50%未満	1	7%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	14	100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

地方創生会議からの意見等

子育てに関しては、官民一体となって充実してきてはいるものの、そこから先にある地域教育、学校教育などに至るまで総合的に取り組んでほしい。

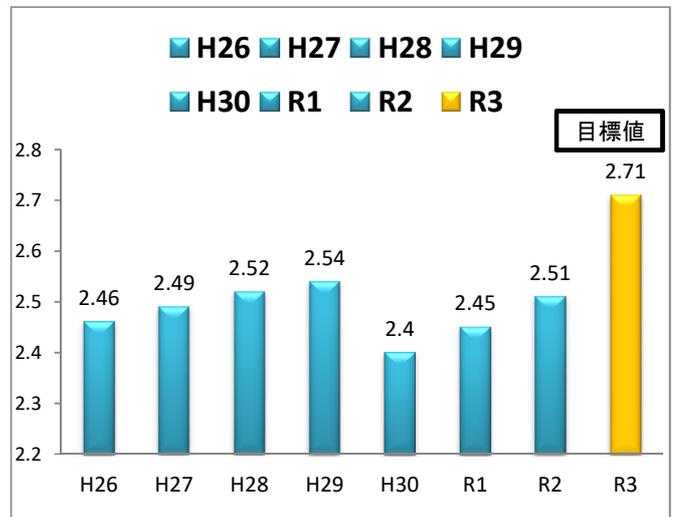
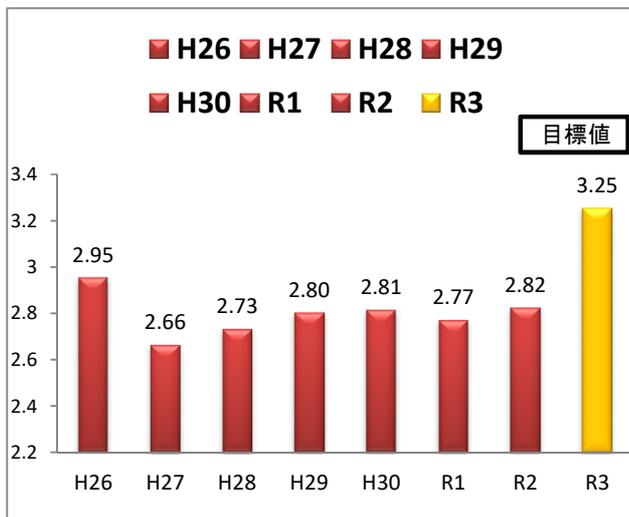
例えば、学区制を廃止して各学校の教育を特色あるものとし、「子供が学習塾等に通わずとも基本的な学習ができるようにする」、「スポーツをより一層伸ばす学校にする」などの学校教育に教育的な付加価値をつけることも必要ではないかと思うので、次期戦略策定時には検討して欲しい。

また、「おせっかい隊」の活動は素晴らしく、もう少し拡充して、子育てだけでなく移住者に対しても地域のコミュニティの中での「おせっかい」の必要性を検討するなど、色々なアイデアで工夫してもらいたい。

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを
守るとともに、地域と地域を連携する

施策概要・目的
<p>「しごと」と「ひと」の好循環作りを進め、人口減少対策に立ち向かうためには、好循環を支えるまちの活性化が重要となります。</p> <p>このため、本戦略で取り組む「しごと」と「ひと」の好循環作りと合わせて、これらの取り組みを効果的に推進するための下支えとして、地域特性を生かした地域の魅力向上、防災力の向上などによる安心して暮らせる地域づくり、地域と地域を連携する仕組みづくりを行い、安全安心なまちづくりを進めます。</p> <p>さらに、過疎・高齢化が進むなか、住み慣れた土地で暮らし続けることができるよう、市民とともに検討・構築していきます。</p>

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	目標値 (R3)
防災・危機管理の満足度	2.95	2.66	2.73	2.80	2.81	2.77	2.82	3.25
地域医療の満足度	2.46	2.49	2.52	2.54	2.4	2.45	2.51	2.71



KPIの達成状況 R2実績値／R3目標値		取組項目(小)の今後の方針について	
①100%	2 / 18%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	1
②100%未満 75%以上	7 / 64%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	2
③75%未満 50%以上	0 / 0%	③特に見直しをせず事業を継続する	3
④50%未満	2 / 18%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	11 / 100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

<p>地方創生会議からの意見等</p> <p>高い高齢化率下で高齢者が安心して暮らすために、特に高齢者被害が多い詐欺などに対する防犯意識は、警察だけではなく市全体で高めていって欲しい。</p> <p>コミュニティーセンター間での連携事業数の目標値に対しての実績については、当初から引き続いて低いため、見直すなど必要である。</p> <p>公共交通に関しては、コロナ禍で特に公共交通を必要とする利用者が多いという実情もあるが、アンケート結果の満足度が上がっている。これは利便性の向上のために、少しずつ行っている取り組みが、認知されてきている結果であると考えられる。</p>
--